交付運用報告書

Asset Management One

シュローダー・サステナブル・世界株ファンド（為替ヘッジなし）

追加型投信／内外／株式

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。
当ファンドは、主として、シュローダー・サステナブル・世界株マザーファンド（以下「マザーファンド」）への投資を通じて、世界の株式に実質的に投資を行い、信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。
当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2024年２月27日～2025年２月25日

第２期	決算日：2025年２月25日	
第２期末（2025年２月25日）	基準価額	14,334円
	純資産総額	1,340百万円
第２期	騰落率	7.1％
	分配金合計	0円

（注１）騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
（注２）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

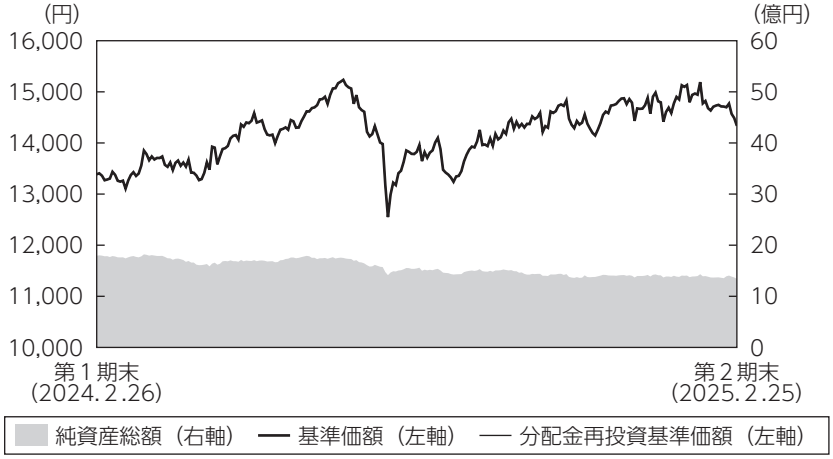
■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**
（受付時間：営業日の午前９時から午後５時まで）
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社
東京都千代田区丸の内1-8-2　https://www.am-one.co.jp/

運用経過の説明

基準価額等の推移



第２期首：　13,388円
第２期末：　14,334円
（既払分配金０円）
騰　落　率：　　7.1%
（分配金再投資ベース）

（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
（注４）当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

米国のインフレや金融政策の動向、米国大統領選挙、欧州の景気減速、中国経済の低迷等、様々な変動要因がある中、想定以上に堅調な米国経済や大型テクノロジー企業等の好業績、生成ＡＩの社会的応用の拡大や関連産業への波及効果等を背景に、株式市場は総じて上昇基調を継続し、基準価額にプラスに寄与しました。セクター別では、資本財や金融セクター等の保有銘柄の株価上昇等が上昇要因となりました。

１万口当たりの費用明細

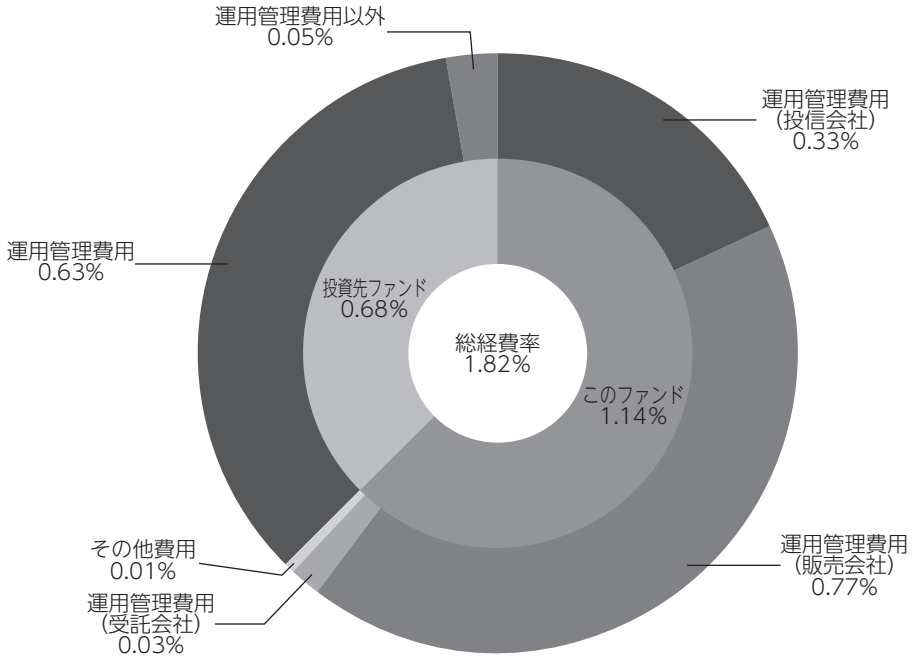
項目	第２期（2024年２月27日～2025年２月25日）		項目の概要
	金額	比率	
(ａ) 信託報酬	160円	1.130%	(ａ) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は14,197円です。
(投信会社)	(47)	(0.329)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(109)	(0.768)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(5)	(0.033)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(ｂ) その他費用	1	0.010	(ｃ) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.007)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	162	1.140	

(注１) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
(注２) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注３) 比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

◆総経費率

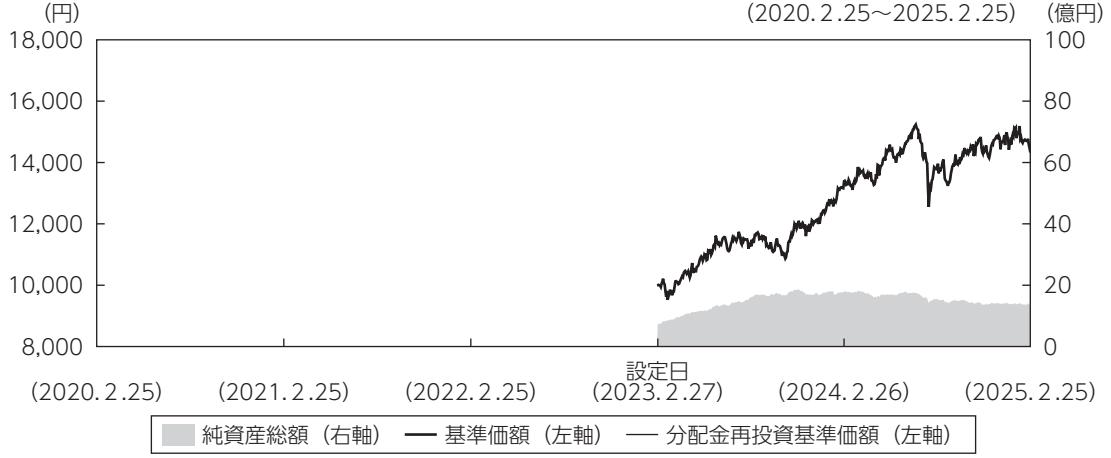
当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.82%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.82%
①このファンドの費用の比率	1.14%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.63%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05%

（注1）①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注3）各比率は、年率換算した値です。
（注4）投資先ファンドとは、マザーファンドが組入れている投資信託証券です。
（注5）マザーファンドを通じて実質的に投資する上場投資信託証券の運用・管理にかかる費用は含みません。
（注6）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注7）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注8）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近５年間の基準価額等の推移



（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
（注４）分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。

	2023年2月27日 設定日	2024年2月26日 決算日	2025年2月25日 決算日
基準価額（分配落）　(円)	10,000	13,388	14,334
期間分配金合計（税引前）　(円)	－	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率　(%)	－	33.9	7.1
参考指数の騰落率　(%)	－	36.9	16.9
純資産総額　(百万円)	737	1,794	1,340

（注１）設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。
（注２）当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はＭＳＣＩオール・カントリー・ワールド・インデックス（円換算ベース、配当込み、ネット）であり、算出にあたっては米ドルベース指数をもとに委託会社が独自に円換算しています（以下同じ）。参考指数については後掲の＜当ファンドの参考指数について＞をご参照ください。

投資環境

グローバル株式市場は上昇しました。期初は生成ＡＩ普及への期待感が高まる中、米大手ハイテク企業を中心に上昇基調で推移しました。期中は米国の景気減速懸念から調整する局面がありましたが、力強い経済指標等により懸念が払しょくされ、再び上昇基調を辿りました。2024年11月にはトランプ氏当選により米国経済の成長が加速するとの期待感から、米国株式市場が大きく上昇しました。期末には米国の新政権による政策をめぐる不透明感から上値が抑えられました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

シュローダー・サステナブル・世界株マザーファンドの組入比率は期を通じて高位に維持しました。

●シュローダー・サステナブル・世界株マザーファンド

グローバル・サステナブル・グロース・ファンドの組入比率は期を通じて高位に維持しました。

●シュローダー・インターナショナル・セレクションファンドーグローバル・サステナブル・グロース　ＩＺクラス

世界の上場株式に投資を行いました。安定したバランスシートを有し、サステナブルな収益のドライバーを有する企業に選別投資を行い、銘柄選択の結果、エネルギーや公益等は非保有とした一方、情報技術や資本財等の組入比率を高位としました。また、純資産総額のうち、グローバル・サステナブル・グロース・ファンドにおけるＥＳＧを主要な要素として選定した投資対象への投資額（時価ベース）の比率は、99.4%（2024年12月末時点）となりました。

≪グローバル・サステナブル・グロース・ファンドの組入上位10銘柄の状況≫

No.	銘柄 国・地域 業種	組入 比率 (%)	銘柄紹介 ファンダメンタル評価 サステナビリティ評価フレームワーク
1	マイクロソフト 米国 情報技術	6.5	ソフトウェアメーカー。ソフトウェア製品の開発、製造、ライセンス供与、販売、サポートに従事。
			企業向けソフトウェアの世界的な大手企業であり、コンシューマー向けソフトウェア市場においても再浮上している点を評価。サーバー事業に対する需要が予想を上回る可能性があることや、同社が提供しているクラウドコンピューティングサービスは、市場の成長に加えシェア拡大を背景に成長が見込まれると評価。
			グローバルなビジネスに深く浸透している生産性向上のために必須のソリューションを提供。企業市民の観点からは、上層部から非常に高い基準で改革がなされたと評価。
2	アルファベット 米国 コミュニケーション・サービス	6.2	持株会社。ウェブ検索や広告、地図、ソフトウェア・アプリケーションなどを提供。
			デジタル広告市場において世界一位の市場シェアを有していることや、クラウド市場においても高い市場シェア・競争優位性を有していること等を評価。
			コアとなる製品群は顧客にとって極めて高い価値があり、さらに業界を横断してイノベーションと投資を促進することで、製品を利用する消費者のみならず、社会、環境、インフラ、安全性等にポジティブな変化をもたらすことのできる企業。忠誠心の強い従業員と、献身的かつ多額の投資を行う経営陣による強固な企業文化を有する。
3	ＳＡＰ ドイツ 情報技術	3.7	ソフトウェア会社。ビジネスソフトウェアの開発等を手掛ける。
			新経営陣の下、収益や営業利益率、キャッシュフロー創出力といった財務指標全体で改善がみられていることや、従業員に対する取り組みを強化する等ステークホルダーとの関係性も改善したこと等を評価。
			安定した顧客を有していることや、経常収益の成長等を背景に、耐久性のあるビジネスを展開。環境問題への関心の高さや、従業員に対する取り組みの強化を評価。新経営陣の下、特にコンプライアンスとキャッシュフローに重点を置き、過去に課題であった倫理や財務面での改善が見られていることも評価。
4	ユニリーバ 英国 生活必需品	3.1	パーソナルケア用品・消費財メーカー。美容、香料、食品、洗剤等広範な生活用品を製造・販売。
			製品ポートフォリオが改善していることや、消費財分野でより急速に成長している事業の買収を実施していること、株価水準が魅力的であること等を評価。
			2010年に開始したユニリーバ・サステナブル・リビング・プランは業界をリードするものであり、企業文化にも根付いていることや、模範的なサプライチェーンマネジメントと健康・衛生に関する地域社会とのエンゲージメントが社会的にプラスの影響をもたらす点を評価。

No.	銘柄 国・地域 業種	組入 比率 (%)	銘柄紹介 ファンダメンタル評価 サステナビリティ評価フレームワーク
5	ＴＳＭＣ 台湾 情報技術	3.0	半導体受託製造企業。ＰＣおよび周辺製品、スマートフォンなどに用いる半導体製品の製造・販売などを行う。
			半導体受託生産におけるマーケットリーダーであり、質の高さや規模の優位性等を背景に市場シェア拡大が見込まれる。また、製造のアウトソーシングが進むにつれ、半導体業界において受託生産は拡大していくことも見込まれ、現在予想されているよりも収益成長が加速する可能性があることも評価。
			全てのステークホルダー（顧客、株主、従業員といった利害関係者）への配慮を背景に、サステナビリティを高く評価。顧客にとって不可欠な存在であり、品質とサービスが優れていることを背景に着実にシェアを拡大してきた。サプライチェーン管理、人的資本管理および資源の使用に関する厳格な管理等を評価。
6	レレックス 英国 資本財・サービス	3.0	情報サービス企業。さまざまな業種の専門家・ビジネス顧客向けに情報・分析を世界的に提供。
			情報・分析ソリューションのリーディングプロバイダーであり、収益源が複数の業界に分散されていることや一貫して高水準の収益を安定的に創出していることを評価。また、科学・技術・工学・数学といった科目を中心に、知識の共有や教育において重要な役割を果たしていることも評価。
			優れた価値提案を背景に、競合優位性と価格決定力を有するとともに、優れた経営陣により一貫して高い資本収益率が実現できている。教育およびオンラインセキュリティに関する製品は、ポジティブな社会的インパクトをもたらすことができる。
7	ブッキング・ホールディングス 米国 一般消費財・サービス	2.9	オンライン旅行会社。ホテルやレンタカー、航空券のオンライン予約を手がける。
			グローバルでの旅行への支出増加や、オンラインの普及等を背景に成長が見込まれると評価。
			ネットワーク効果による競争力を有しており、技術革新、顧客やホテル経営者に対する付加価値の高さ等を高く評価。経営陣は長期的な視野で経営を遂行しており、優れた実績を有する。
8	マスターカード 米国 金融	2.9	資金決済処理サービス企業。クレジットカードやデビットカードの決済処理、電子マネーなどを扱う。
			現金支払いからデジタル決済への構造的移行の恩恵が期待できると評価。収益の源泉を多角化していることも評価。同社のコア事業であるＣｔｏＢ（Consumer to Business）ペイメント事業は、ネットワーク構築が難しく、参入障壁が高いことから、優れた利益率が実現できている点も評価。
			より安全で効率的な決済をグローバルに提供し、ファイナンシャル・インクルージョン（誰もが取り残されることなく金融サービスへアクセスできること）の向上に伴うポジティブな社会的インパクトを実現している。従業員の多様性への強いコミットメントと、より広範なＣＳＲへのコミットメントが向上。

No.	銘柄 国・地域 業種	組入 比率 (%)	銘柄紹介 ファンダメンタル評価 サステナビリティ評価フレームワーク
9	日立製作所 日本 資本財・サービス	2.8	日本の電機メーカー。ＩＴサービスやＤＸソリューション、鉄道システムなど広範囲にサービスを展開。
			グリーンテクノロジー等、長期的な成長ドライバーとなる事業を有していること等を評価。また、経営が改善傾向にあり、利益率やキャッシュフロー等が上昇する可能性がある点も評価。
			新社長の下、鉄道やエネルギーグリッド、デジタル化、スマートシティといった社会インフラに事業を集中させ、特に環境に対する取り組みを中心にサステナビリティ慣行を定着させようとしている点を評価。
10	ＶＩＳＡ 米国 金融	2.7	クレジットカード会社。
			現金からデジタル決済への構造的な移行の恩恵が期待できると評価。同社の強力な地位、銀行との関係性、財務基盤等も高く評価。
			優れたネットワーク効果を有している点を評価。また、銀行口座を有していない人々にも金融・決済機能を提供する取り組みも評価。従業員の多様性への強いコミットメントと、幅広いＣＳＲの改善への取り組み、環境目標を掲げていること等も評価。

※サステナビリティ評価フレームワークは、シュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッド（以下「シュローダー社」）が独自に開発した、企業のサステナビリティを評価するフレームワークです。
※組入比率は2024年12月末時点のグローバル・サステナブル・グロース・ファンドの純資産総額に対する割合です。
※上記は、シュローダー社からの情報を基にアセットマネジメントＯｎｅが作成しており、記載銘柄の推奨を行うものではありません。また、今後も上記銘柄の保有を継続するとは限りません。

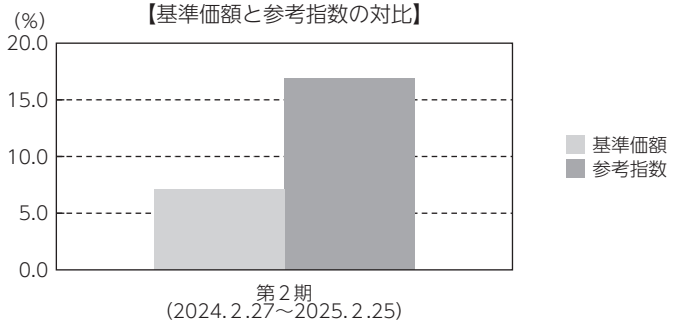
≪シュローダー社が同社のスチュワードシップ方針に沿って実施した行動について≫

シュローダー・サステナブル・世界株マザーファンドが投資しているグローバル・サステナブル・グロース・ファンドを運用するシュローダー社は、議決権行使が会社に意見を伝え、会社の運営に積極的な影響を与えることができる重要な方法の一つであり、議決権行使を慎重に行う責任があると認識しています。シュローダー社の議決権行使の実践に関する詳細は、下記ＵＲＬ内（英語版のみ）のＥＳＧ方針及びエンゲージメント・ブループリントをご参照ください。

https://www.schroders.com/en/global/individual/about-us/what-we-do/sustainable-investing/our-sustainable-investment-policies-disclosures-voting-reports/

参考指数との差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数であるＭＳＣＩオール・カントリー・ワールド・インデックス（円換算ベース、配当込み、ネット）の騰落率の対比です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（１万口当たり）

項目	当期 2024年２月27日 ～2025年２月25日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－％
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	4,333円

（注１）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
（注２）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第３位を四捨五入しています。
（注３）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド
　引き続き、マザーファンドの組入比率を高位に維持します。

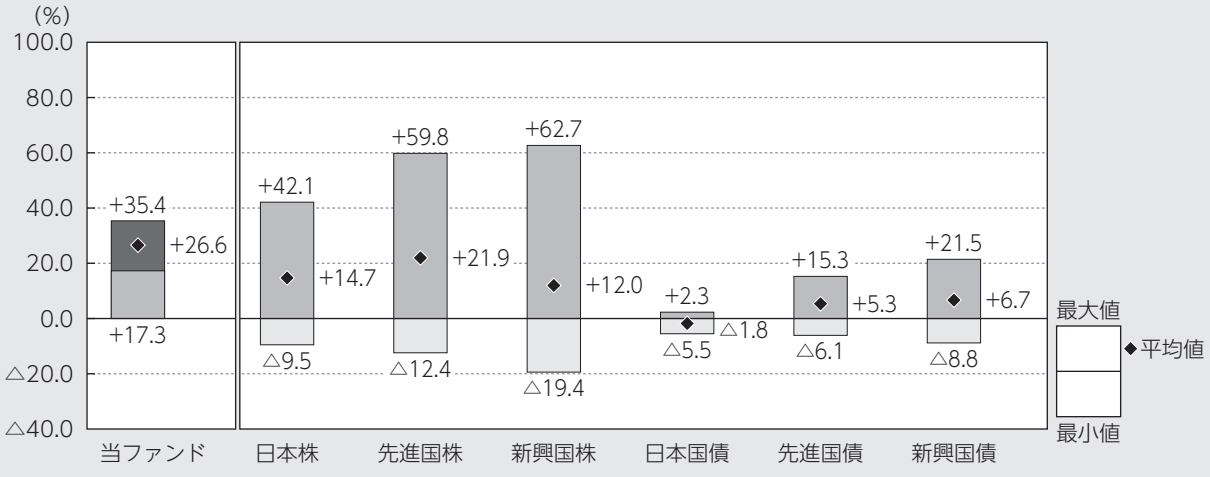
●シュローダー・サステナブル・世界株マザーファンド
　引き続き、グローバル・サステナブル・グロース・ファンドの組入比率を高位に維持します。

●シュローダー・インターナショナル・セレクションファンドーグローバル・サステナブル・グロース　I Zクラス
　世界的な経済成長見通しの改善、多くの地域での金融緩和の実施、企業業績の成長等が市場の支援材料となってきました。トランプ政権の政策提案は、実際に行うことと、交渉戦術として使用されていることを見極める必要があり、政策実行能力をどの程度有しているのかは引き続き不透明感が残ります。このような環境下、安定したバランスシートをもち、サステナブルな収益ドライバーを有する企業を選別して投資する当戦略は高い有効性を発揮すると考えます。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2023年２月27日から2053年２月25日までです。	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。	
主要投資対象	シュローダー・サステナブル・世界株ファンド（為替ヘッジなし）	シュローダー・サステナブル・世界株マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	シュローダー・サステナブル・世界株マザーファンド	・グローバル・サステナブル・グロース・ファンド ・短期米ドル建債券等を主要投資対象とする上場投資信託証券
運用方法	グローバル・サステナブル・グロース・ファンドの運用は、シュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッドが行います。 グローバル・サステナブル・グロース・ファンドは、銘柄選定にあたり、シュローダー社独自の評価ツールであるサステナブル評価フレームワークを活用して、企業の持続的な成長が期待されるサステナブルな銘柄を厳選して投資を行います。 グローバル・サステナブル・グロース・ファンドは、銘柄選択にあたり、世界の株式*から独自の評価基準にもとづいてサステナビリティ評価の高い銘柄を選定し、収益の獲得をめざします。 ＊　ＤＲ（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証書等を含みます。 投資候補銘柄に対して独自のサステナビリティ評価基準を適用することによって、様々なステークホルダーの観点から事業モデルの長期的な継続性を評価し、サステナビリティの観点から優れた企業経営を実践している企業を厳選して投資します。 短期米ドル債ＥＴＦについては、規模、流動性、信用リスク、追従するベンチマーク指数の差異等を総合的に判断して、銘柄を決定します。 マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。 実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
分配方針	年１回の決算時（毎年２月25日。休業日の場合は翌営業日。）に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を対象として、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンド　　：2024年２月～2025年１月
代表的な資産クラス：2020年２月～2025年１月

（注１）すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注２）上記期間の各月末における直近１年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注３）当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとして計算しています。

＊各資産クラスの指数
日本株……東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）
先進国株…ＭＳＣＩコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株…ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債…ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債
先進国債…ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債…ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイド（円ベース）
（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

当ファンドのデータ

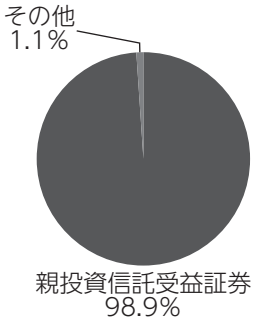
当ファンドの組入資産の内容（2025年２月25日現在）

◆組入ファンド等　　（組入ファンド数：１ファンド）

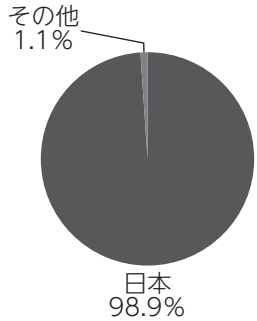
	当期末
	2025年2月25日
シュローダー・サステナブル・世界株マザーファンド	98.9%
その他	1.1

（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

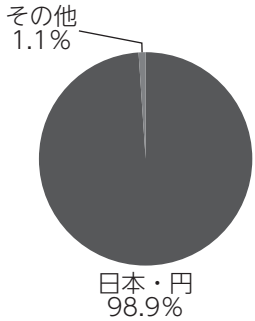
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）現金等はその他として表示しています。

純資産等

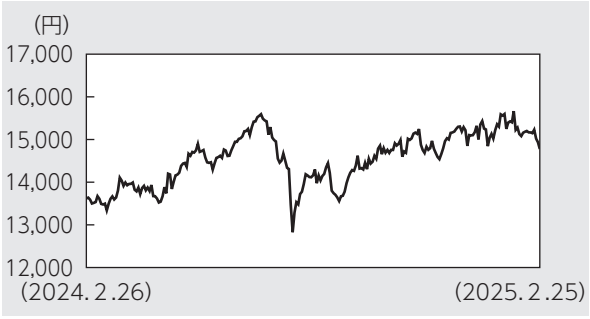
項目	当期末
	2025年2月25日
純資産総額	1,340,418,692円
受益権総口数	935,141,199口
1万口当たり基準価額	14,334円

（注）当期中における追加設定元本額は370,299,450円、同解約元本額は775,280,427円です。

組入ファンドの概要

［シュローダー・サステナブル・世界株マザーファンド］（計算期間　2024年２月27日～2025年２月25日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
ISHARES SHORT TREASURY BOND ETF	アメリカ・ドル	0.1％
－	－	－
－	－	－
－	－	－
－	－	－
－	－	－
－	－	－
－	－	－
－	－	－
－	－	－
組入銘柄数	1銘柄	

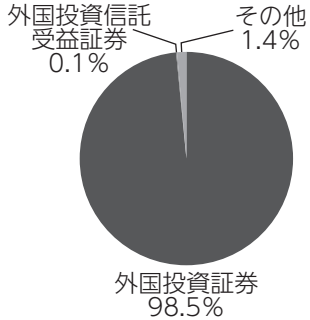
◆１万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用	1円	0.008%
(保管費用)	(1)	(0.007)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	1	0.008
期中の平均基準価額は14,545円です。		

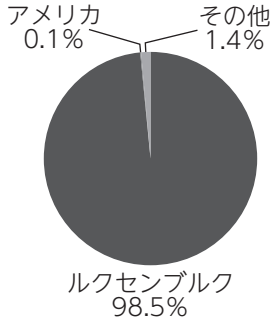
◆組入ファンド等　(組入ファンド数：１ファンド)

	当期末
	2025年２月25日
Schroder International Selection Fund - Global Sustainable Growth	98.5%
その他	1.5

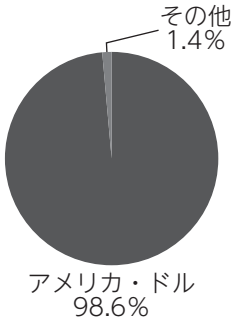
◆資産別配分



◆国別配分



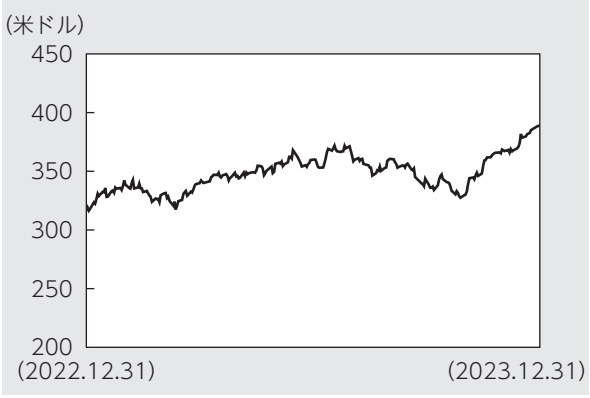
◆通貨別配分



（注１）基準価額の推移、１万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。
（注２）「１万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
（注３）組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
（注４）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注５）国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。
（注６）現金等はその他として表示しています。
（注７）計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

[シュローダー・インターナショナル・セレクションファンド－グローバル・サステナブル・グロース　I Zクラス]（計算期間　2023年1月1日~2023年12月31日）

◆基準価額の推移



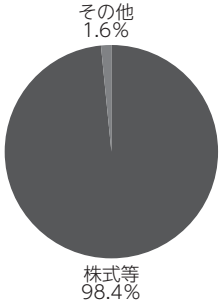
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
Microsoft Corporation	アメリカ・ドル	7.0%
Alphabet Inc. Class A	アメリカ・ドル	4.3
Elevance Health, Inc.	アメリカ・ドル	3.3
Schneider Electric SE	ユーロ	3.0
Hitachi,Ltd.	日本・円	3.0
Booking Holdings Inc.	アメリカ・ドル	2.8
Bunzl plc	イギリス・ポンド	2.8
Banco Bilbao Vizcaya Argentaria, S.A.	ユーロ	2.6
RELX PLC	イギリス・ポンド	2.6
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd.	台湾・ドル	2.5
組入銘柄数	43銘柄	

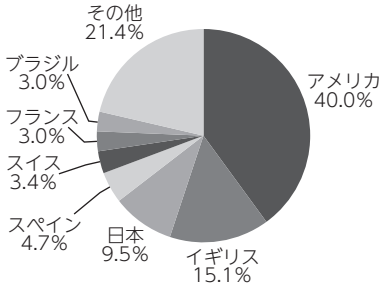
◆１口当たりの費用明細

費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

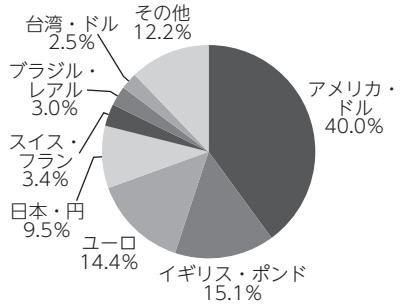
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注１）基準価額の推移はシュローダー・インターナショナル・セレクションファンド－グローバル・サステナブル・グロース　I Zクラスの計算期間（決算日が休日の場合は前営業日まで）のものです。また、分配金を再投資したものとしてアセットマネジメントＯｎｅが作成したものです。

（注２）組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、シュローダー・インターナショナル・セレクションファンド－グローバル・サステナブル・グロースの決算日（決算日が休日の場合は前営業日）現在の状況を表示しております。

（注３）比率はシュローダー・インターナショナル・セレクションファンド－グローバル・サステナブル・グロースの純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。

（注４）現金等はその他として表示しています。

（注５）上位８位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

（注６）資産別配分の株式等には新株予約権付社債等が含まれる場合があります。

（注７）組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、運用会社であるシュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッドのデータを基にアセットマネジメントＯｎｅが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

＜当ファンドの参考指数について＞

●ＭＳＣＩオール・カントリー・ワールド・インデックス（円換算ベース、配当込み、ネット）

ＭＳＣＩオール・カントリー・ワールド・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．に帰属します。また、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

●「東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はＪＰＸが有しています。

●「ＭＳＣＩコクサイ・インデックス」は、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．に帰属します。また、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス」は、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．に帰属します。また、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●「ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本）」は、ＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣの知的財産であり、指数に関するすべての権利はＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣが有しています。

●「ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイド」は、Ｊ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はＪ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

（このページは白紙です）

（このページは白紙です）

Asset
Management
One